

京都市生物多様性プラン（2021-2030）の進捗状況

資料 3

2030年目標	達成項目	指標	実績値				目安とする目標値
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和12年度	
【目標1】 京都らしさを支える生物多様性の持続可能な利用を図る	(1) 京都の文化を支える生物資源を持続的に利用する。	鴨川のアユの遡上数[匹]	29,070	19,450	17,387	19,000	
		市内産チマキザサの利用量[万枚]	7	7	10	— (検討中)	
		「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」取組者数(累計)[者]	296	390	482	1,200	
	(2) 自然が持つ多様な機能を活用して、都市のレジリエンスの向上を図る。	京都市域における自然共生サイトの認定面積[ha]	—	190.5	257.1	700	
		雨庭の整備地点数(累計)[箇所]	11	14	16	— (検討中)	
	(3) 生物多様性を活用した持続可能な観光を促進する。	【観光客】自然・風景を経験した割合[%]	95.1	92.6	92.8	↗	
		【事業者】「景観・環境」につながる行動を1つ以上の項目で積極的に取り組んでいる事業者の割合[%]	53.2	50.5	48.5	↗	
【目標2】 生息・生育地と種の多様性を保全・回復する。	(1) 多様な動植物が見られる重要な生息・生育地の環境を改善する。	重点保全地域における評価指標(検討中)	—	—	—	—	
		京都市域における自然共生サイトの認定面積【再掲】	—	190.5	257.1	700	
	(2) 里地里山の生物多様性の劣化を食い止め、回復を図る。	環境保全型農業取組面積[ha] (環境保全型農業直接支払交付金の取組面積)	11.1	11.2	22.1	— (検討中)	
		間伐・保育等実施面積[ha]	359	356	398	—	
		野生鳥獣による農林産物被害額[千円]	35,499	32,822	— (集計中)	25,000	
		ミナミメダカの発見数[匹]	—	—	11	— (検討中)	
	(3) 種の絶滅を食い止める。	京都府RL掲載種のうち、市域生息種数	1,164	1,148	1,120	↘	
	(4) 生態系や人の健康、農業に被害を及ぼす外来生物の拡大を防止するとともに、新たな定着を阻止する。	侵略的外来生物等の防除の取組件数	7	7	8	9	
		新たな侵略的外来生物の定着確認数	—	—	—	0	
	(5) 河川におけるプラスチックごみによる汚染を大幅に削減する。	プラスチックごみを減らすために取り組んでいる人の割合(プラスチック以外の素材(紙など)のものを優先的に使用する、量り売りや裸売りの商品を優先的に購入しているなど)[%]	75.1	75.3	73.1	↗	
		淀川クリーン作戦で回収されるごみ量[袋]	1,065	954	1,143	— (検討中)	
	(6) 地球温暖化を緩和する。	京都市域の温室効果ガス排出量削減率[%]	22.6	27.6	— (集計中)	46	
		京都市域における二酸化炭素吸収量(森林、農地、緑地)[万トン]	24.2	24.7	— (集計中)	25	
【目標3】 生物多様性に配慮したライフスタイルへの転換を図る。	(1) 生物多様性に配慮した消費行動が広がっている。	京都エシカル消費推進ネットワーク参加団体[者]	—	29	29	↗	
		買い物をする時やサービスを利用する時に、エコマーク、省エネラベル、持続可能な森林経営、化学物質に頼らない食品などの環境ラベルを見て買う人の割合[%]	16.6	14.6	15.3	↗	
	(2) 一人ひとりが自然を身近に感じ、暮らししている。	暮らしの中で、自然を身近に感じる機会がある人の割合[%]	72.3	70.4	71.0	↗	
	(3) 一人ひとりが生物多様性とのつながりを認識している。	暮らしや経済活動が多様な生きものから受ける恵みにより支えられていると感じている人の割合[%]	65.6	61.1	64.2	↗	
	(4) 一人ひとりが生物多様性のために行動している。	生物多様性を守るために、取り組んでいる人の割合[%]	54.5	53.3	47.5	↗	
		環境保全活動プログラムの参加者数[名] (うち自然共生がテーマのもののみ)	144,988	192,495	— (集計中)	— (検討中)	
【目標4】 社会変革に向けた仕組みを構築する。	(1) 生物多様性に配慮した経済活動を促進する。	京都市域における自然共生サイトの認定面積【再掲】[ha]	—	191	257	700	
		TNFDの賛同団体数等	4	7	9	30	
		竣工した公共施設におけるCASBEE京都のAランク又はSランクの割合[%]	100	100	— (集計中)	100	
	(2) 生物多様性保全のための活動を支援する。	きょうと生物多様性センター等による企業団体等のコーディネート件数[件]	—	37	40	60	
	(3) 生物多様性に関する情報の集約・発信力を強化する。	きょうと生物多様性センター等における情報の発信数[件]	—	—	18,712	50,000	
	(4) 生物多様性の現状を把握するための知見を集積する。	市民参加型調査の結果[件]	224	213	155	800	
		長期的・定量的な調査結果の集積件数(きょうと生物多様性センターにおける情報の集積数)	—	—	—	— (検討中)	

※目安とする目標値のうち、「↗」は前年度に比べて増加・上昇を、「↘」は減少・低下を目指しているもの